

※※※※※ 発行人 ※※※※※

特定非営利活動法人

介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会

代表理事 熊谷 道夫



「令和」と元号が変わってから一回目の総会です。

社会福祉をめぐる情勢は極めて厳しい環境にありますが、気持ちも新たに活動していきたいと思えます。

議案書の活動方針にもありますが、事業として取り組む「地域支え合い推進」活動につきましては、これまでに各地区ごとの会員交流会を二度開催し会員同士の意見交換や各地区での活動など、会員の方々から提案された具体的な意見を整理検討し、今後の活動の更なる充実に向けて取り組んでいきます。

さらに地域包括支援センターや関係機関等との連携の強化にも努めてまいります。

また「介護サービス情報の公表制度」調査につきましては、研修などフォローアップを重ね課題の共有化を図っていききたいと思っております。

加えて「宮城介護人材を育む取組宣言認証制度（第二段階）」調査員養成に参加し本制度の定着を図ります。

「地域密着型サービス外部評価」調査につきましては前年の良い点を参考に引き続き実施し、調査事業所数増加に努めてまいります。

## 通常総会に寄せて



代表理事

## 熊谷 道夫

「福祉サービス第三者評価」調査につきまして、これまで取り組んできた地道な営業活動の成果に期待したいところです。

その他の活動につきましても一万人の基本理念を基に継続して取り組んでいきたいと思っております。

年頭の挨拶の中で、政府が高齢化の進展に伴う70歳雇用問題を踏まえた「高年齢者雇用安定法」改正の検討や政府の「未来投資会議」が中間とりまとめを行い発表した「新たな成長戦略」に大いなる論議を期待したいと述べました。

これら改正検討の背景は急速に進む高齢化の影響で、そもそも若年層だけでは産業の持続的発展を望みにくいことから、社会を支えるメンバーの数を維持する必要が出てきたためです。

団塊の世代が75歳を迎える2025年問題、さらに最近テレビ、新聞を賑わしている8050問題も含め、これらの問題に関心を持って、会員の皆さんの豊富な経験や知識を活動に活かしていくことは、皆さんの生きがいや活力を見出すことにもつながり、社会全体にとっても有意義な事であると思えますのでこれからも何卒宜しくお願いいたします。

# 第18回通常総会並びに基調講演会が開催されました

令和元年5月30日仙台市生涯学習支援センターに於いて、高齢化社会を生きる私たちに無縁とは言えない認知症の介護や予防方法など、必要な知識を身につけるため、医療法人社団清山会

みはるの杜診療所院長石原哲郎氏を講師に迎えて「認知症の人と歩む～認知症の本人から学んだ支援～」をテーマにした基調講演と第18回通常総会の2部構成で開催されました。

## 第一部 基調講演会模様



認知症の人とともに歩む  
～認知症の本人から学んだ支援～  
みはるの杜診療所院長  
講師 石原 哲郎氏



石原先生の専門は、認知症の診断および診断後支援で、認知症専門医・神経内科専門医として認知症サポート医、認知症初期集中支援チーム・チームドクターとしても活動しています。

又、東北福祉大学ステーションキャンパスカフェ（毎月第4土曜日）で、認知症と診断された人、家族への支援と当事者同士の社会活動を当事者と共に行っています。本人がやりたいことに向けて、新しいつながり（ドアのさき）前向きな変化（本人の笑顔）を一緒に楽しみながら得ることを目的に活動されています。

講演内容は、自身の経験や事例の資料に基づきお話をしました。

### 【認知症に対する誤解】

私の祖母も認知症で20年前に3年ほど、当時の老人病院で介護を受けていた経験を持っています。その頃は情報も乏しく、認知症に対する誤解もあり、家族で大変な思いをしました。

認知症の定義自体2013年に新しい認知症の診断

### 【プロフィール】

みはるの杜診療所院長

英国エディンバラ大学客員研究員

東北大学未来科学技術共同研究

センターリサーチフェロー



基準に変わっています。

一つ以上の認知領域（複雑性注意、実行機能、学習および記憶、言語、知覚－運動、社会的認知）が、以前の機能レベルから低下していて、認知機能の低下が日常生活に支障を与えるような状態を認知症と診断されます。

### 【周りの人とのかかわりの重要性】

外来で私が診察の中で皆さんのお話を聞いていると、認知症の人とのかかわりで一番多いのが悪循環です。問題行動を繰り返し「言っても聞かない・解からない人」と支援者は判断します。そうすると問題に対処出来ないと、医師や介護の専門家にどうしたらいいか？相談します。解決策として日々観察記録することで、行動パターンの仮説が経ちそれを繰り返すことで、ある問題が見えてきます。どん



きます。どんな時にもご本人に対して説得するよりも傾聴、共感、受容する事が大切である。

### 【認知症の人の権利と合理的配慮】

目の前の人「障害者」ですか？「人」ですか？「認知症」ですか？「人」ですか？と思ったことがありますか？

英国の故トム・キットウッド教授がパーソン・センタード・ケアで①年齢や認知障害の有無にかかわらず、全ての人には人としてのあらゆる権利(価値)があることを認めること。②認知症の人の持っている「心理的ニーズ」を理解するうえで「一人の人として無条件で尊敬されること」を中心に「自分らしさ、結びつき、たずさわること、共にあること、くつろぎ」という6つの事が重要となること。③最後まで一人の人として本人の視点に立ったアセスメントが大変重要であること。など認知症の人の権利尊重と周囲の人の合理的配慮の重要性を提唱しています。

### 【認知症とともに生きること】

仕事の傍らオレンジドア代表として講演活動を行っている39歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断された方が、自分の経験から失敗するのは当た



り前「解らないから教えて」と笑顔で言える味方を増やす環境作りが大切だと話しています。

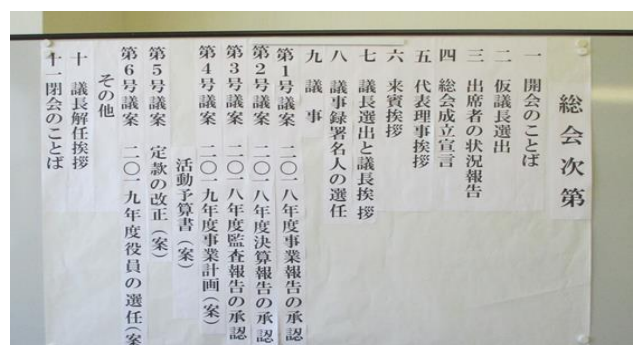
又、子供の時に受けた脳の病気の治療による遅発性の認知機能障害ある方は、その経験から専門家として、県内外で講演活動とともに介護福祉士として、上司や同僚の合理的配慮のもと介護施設で就労しています。

以上、「認知症の人は認知症と」「周囲の人は認知症の人と」とともに歩む大切さについてお話いただきました。



2025年には700万人になると言われ、誰もがなりうる認知症(自分もその一人かも……)講演の中で目の前の人「障害者・認知症」ですか？「人」ですか？との質問に、人はあたりまえの権利(人権)がある事と、最後まで一人の個人が尊重される事など認知症になっても、家族や周囲の人の合理的配慮があれば、一人の「人」として笑顔で生きられる優しい社会になるのだと思いました。

## 第二部 第18回通常総会模様



## 第二部 第18回通常総会模様



相楽美代子理事が開会の辞に続き、早坂幸代理事から出席者53名、委任状36名の報告があり、本総会の定足数充足の確認・成立が宣言された。続いて、根本幹雄会員を議長に選任、議事録署名人に高野剛理事・戎野邦夫理事が選任され、熊谷道夫代表理事挨拶に続き、来賓の方々

＊「介護や病気のストレスは気もちようで少しの時間ドライブ等が気分転換になり介護や病気も前向きに対応できる。明るい前向きなこの会がもっともっと周囲と交流していただきまして近所の高齢者の方が皆様を見てもっとも外に出てみようという気持ちになればと思います。そういったことが介護予防に次がると思っています」

＊「介護サービスの今後の充実のためには質もさることながら量、なるべく多くの方々に介護の施設に来て頂く、働く方として来て頂きたいと考えています。そういった中で、皆さま方にご尽力をいただいております公表制度を通しまして利用者がどういった施設のサービス形状なのかの情報を入ることと合わせまして、働く方にとっても、自分が働いた時に、どういう勤務体制なのか処遇絡みなのかが、皆さん方に頂いた情報を通して分かるということが進んできたのではないかと考えております」

＊「今後増々増え続ける高齢者、認知症状態にある方々そしてその家族を含め、たとえ認知症にな

っても安心してらせる地域社会を築き、地域社会に貢献したいと思っております。今後とも県内の高齢施設の推進と、誰もが安心して老いることができる地域社会を目指します」

・「高齢化社会の様々な諸問題に必要な機関や支援者との連携を強化し、地域支援の充実や地域包括システムの進化・推進に向けて取り組み、地域共生社会の実現に向け、皆様の活動と連携させて、福祉を具体的にとらえていかなければならないと思っています」祝辞がありました。また、当会の会員である衆議院議員岡本章子氏から「年金、医療、介護をはじめとする社会保障制度を守り、着実に次世代に引き継いでいかなければなりません。そのような中で、皆様の活動は、介護分野のみならず、広く社会を支え合う様々な仕組みに、大変参考になる取り組みだと思っております。私も皆様と連携させていただきながらより良い社会保障制度の構築に努めて参ります」とのメッセージが寄せられました。





休憩を挟んで議案の審議に移り、

①仲野紀夫専務理事から第1号議案2018年度事業報告、箕輪元三副代表理事から第2号議案2017年度決算報告、大倉克志監事から第3号議案2018年度監査報告について提案され、第1号議案から第3号議案までの3議案について、一括審議の結果承認されました。

②次に仲野紀夫専務理事から第4号議案2019年度事業計画(案)、箕輪元三副代表理事から2019年度活動予算書(案)が提案され審議の結果承認されました。

③続いて、第5号議案として、当会の重要事業であ

出席されました来賓は次の方々です

宮城県保健福祉部長寿社会政策課

課長 梶村 和秀氏

仙台市健康福祉局保険高齢部介護保険課

課長 中村 喜陽氏

仙台市地域包括支援センター連絡協議会

副会長 中島 絢氏

仙台市老人福祉施設協議会

副会長 千田 勝見氏

NPO法人宮城県認知症グループホーム協議会

会長 内海 裕氏



る「地域密着型サービス外部評価」評価事業について、定款第5条1項(1)に付加し、明文化することが提案され、承認されました。

④また、本間吉雄理事の死亡退任に伴う根本幹雄氏の補充選任について、第6号議案が提案され承認されました。

以上で全議案の審議を終え、根本幹雄議長の解任挨拶の後、相楽美代子理事の閉会のことばで第18回通常総会滞りなく閉会しました。



# 2019年度 第回一万人市民委員会地域支え合い活動のセミナーを開催

令和元年5月16日(木)13時～15時30分まで、泉区の仙台市将監市民センターに於いて、会員15名、地域の方6名、将監地域包括支援センター松本様と22名が参加し「健康セミナーと会員交流会」が開催されました。会員は泉区だけでなく太白区、若林区、利府町、東松島市からも講演内容に興味を持たれ参加しています。



第1部は「ためになる健康セミナー」として講師に総合南東北病院 南東北岩沼PET高度診断治療センター健診エリアリーダー中島 俊一氏を迎え最後まであきらめない、白血病や舌がん治療。標準治療と先進医療についての講演をいただきました。

中島氏は民間で初めて陽子線治療施設を開設し、次世代の治療法である BNCT (転移、多発、再発がんにも有効と考えられている) 実用化を“世界初”“日本初”を目指し治験を開始した総合南東北病院におられます。

現在2人に1人が、がん罹患し、がん患者の3,5人に1人が死亡しているという。現在がんの標準治療は手術療法、放射線療法、化学療法(分子標的薬)の3種類の組み合わせで行っている。



しかし、標準治療にも限界があり、そこで先進治療である陽子線治療が着目されている。

標準治療は保険が適用されるが先進治療は保険適用がないので自己負担となる。そのための備えも考えておく必要があるとのこと。

陽子線治療を受けるにも主治医からの紹介状が必要でセカンドオピニオンの活用を話されていた。

未来のがん検査は一滴の血液で13種類のがんが発見できる「マイクロ RNA 検査」で小さながんも発見できる。しかし、がんの種類は100種類以上あり、部位や詳細がわからないそこで早期発見(助かる時期)の検査としてPET 検査を薦められた。



保険適用がなく、10万円位かかるが、「車の車検費用を考えるとどうでしょう」というお話が印象的であった。その後、会場からの質疑応答があり関心の高さがうかがえた。第二部は将監地域包括支援センターの松本さんから、地域包括についてのお話、健康体操の実技指導の後、参加した会員の自己紹介と地域での活動状況報告を聞き、お茶を頂きながら懇談をしました。





## 理事会模様

### ◆平成30年度第7回理事会

★平成31年4月19日(金)、仙台市生涯学習支援センターにおいて第7回理事会が開催されました

主な活動報告、審議事項は次のとおり

- 1) 第18回通常総会議案書(案)審議
- 2) 第18回通常総会議事の進め方並びにタイムスケジュールについて
- 3) 広報、財政、組織、総務関係について報告・審議
- 4) その他

### ◆平成30年度第8回理事会

★平成31年4月23日(火)、仙台市生涯学習支援センターにおいて第8回理事会が開催されました

主な活動報告、審議事項は次のとおり

- 1) 第18回通常総会議案書(案)審議
- 2) 第18回通常総会議事の進め方並びにタイムスケジュールの確認
- 3) 広報、財政、組織、総務関係について報告・審議
- 4) 諸会議、研修会などの参加状況と今後の計画について
- 5) その他

(※詳細については事務局備付けの議事録を閲覧願います)

### ◆よろず相談会のご案内

2019年7月から10月までの開催日程は下記のとおりです

#### ☆開催日程

- ・7月16日(火) 相談役 安田廣治司法書士
- ・8月21日(水) 相談役 武田貴志弁護士
- ・9月25日(水) 相談役 安田廣治司法書士
- ・10月22日(火) 相談役 武田貴志弁護士

### 【お詫びと訂正】

前号(129号)の2頁と7頁が印刷機の不具合で1部不鮮明なものをお届けしましたことお詫び申し上げます。

また3頁の山内くに子様の「会員の近況報告」で「気仙沼福祉プラザ」とありましたのは、「仙台市福祉プラザ」の編集時における入力ミスでした。また、編集の不手際のため、内容に齟齬が生じました事お詫び申し上げます。

編集委員一同

### \*\*\*\*お知らせ\*\*\*\*

事務局の夏休みは8月13日～16日までです

## 『地域支え合い推進委員会』だより

令和元年5月16日仙台市将監市民センターに於いて開催された第1回「健康セミナーと交流会」終了後に寄せられた主なご意見を紹介します。

- ・大変参考になりました。実際に3年前に主人が手術でがんを取りましたが、他の方法があればと思いながら、仕方無しでした。もっと早く知りたかった。
- ・とても参考になりました。セカンドオピニオンの大切さ、諦めない命の大切さ、PET検査の必要性。もっと安く受けられれば良いなと思いました。
- ・大変勉強になりました。ガンについての情報ありがとうございました。セカンドオピニオンの紹介大切だと思います。
- ・大変興味深く聞くことができました。
- ・思った以上に実のある会でした。
- ・分かりやすく説明していただきました。
- ・私にとっても身近な問題だったので、興味深く聞くことができました。また、先生に個人的に質問も出来良かったと思いました。

次回以降の開催予定は次のとおりとなっています。

### ◆第2回「健康セミナーと交流会」のご案内

日時:6月27日(木)13時～

場所:太白区中央市民センター(太白区文化センター内 中会議室)

仙台市太白区長町5-3-2 TEL:022-304-2731

### ◆第3回「健康セミナーと交流会」のご案内

日時:7月25日(木)13時～

場所:宮城野区中央市民センター(宮城野区文化センター内 第2会議室)

仙台市宮城野区五輪 2-12-70 TEL:022-257-1213

※会費は会員のみ200円

### 【編集後記】

令和元年早々飛び込んでくるニュースは、幼い子供たちが高齢ドライバーの過失による事故、親からの虐待、80・50ひきこもりでの殺傷事件、高齢者の生活を脅かす年金問題など、令和になってから問題が増加し暗いニュースばかりです。

そんな中で皇后雅子さまが元気になられ、威風堂々と自信を持って公務をこなされる姿は、本来の姿なのではと思っています。語学が堪能で英語、ロシア語、仏語、独語を話される皇后雅子さま、無理せずゆっくと令和流皇室を作って欲しいと願っています。

(本田)



## 改元に寄せて 会員佐藤はるみ

昭和から平成への暗い改元とは一変して、日本全国が  
 祭り騒ぎのように明るく平成から令和へと改元しました。

多年は雨が降らなかつたから、いつもより少ないけどタケ  
 ノ「掘りに来ない?」「空前絶後の大型十連休も終わって間も  
 ないころ、名取の兄から電話が入りました。大好きの新鮮な  
 タケノ「が手に入るとあって、待つてましたとばかりに大張  
 り切りで出かけました。」

昨年は、食べきれないほどとれたのに今年は、本当に探す  
 のに「苦労。しばらく竹林をあちこち探しまわって、やっと  
 一本、急な斜面の隅っこの方に発見。長靴でどたとと駆け  
 寄り、鍬で掘り出そうとしたのですが、なかなかタケノ「が  
 掘り出せません。ここで、元来のせつかな性格が顔を出し  
 たのが運の尽き。えい」とばかり、渾身の力を振り絞り、タ  
 ケノ「を引く張ったとたん、後ろに倒れて、一瞬気を失ってし  
 まいました。気が付いたら、竹林の下を流れている用水路の  
 中。懸命に立とうとしたのですが、もがいてももがいても全  
 く立てません。必死でもがきながら、30メートルほど先で  
 何とか立ち上がる事ができ、事なきを得ました。

タケノ「掘りの老女、用水路でおぼれる』なんて、新聞にで  
 も載ったら笑えないよなあ」と、水中でアップアップしなが  
 ら、冷静に考えていた自分を、後で思い出すと苦笑してしま  
 いました。

又丈夫なの?」「本当に、どこもケガしなかつたの?」と  
 心配して、毎日のように兄夫婦が代わる代わる電話をくれ  
 るので、ちいこはわり、暑かつたしね。三途の川の渡り方を  
 練習してみたのよ。わはっはっは」

なんて笑つてはみたものの、何事もなかつたのが自分でも不  
 思議なほど。

数日前に津軽の不老不死温泉に入ったご利益かな?お礼  
 参りに行かなくっちゃ!普段は、占いも何も信じない私が、急  
 に信心深くなっているのがおかしくなりました。

令和暮あけ早々の大失敗から学んだわが人生訓。

『その1』人の一生、いつ、どこで、何があるかわからない。常  
 に、用心すべし。

『その2』後々、悔いを残さないように、やりたいときにやりた  
 いことをやるべし。

人生僅か五十年と言われていた時代から、今やなんと人  
 生百年設計が必要と言われるほどの長寿社会になりました。  
 少子高齢化や年金問題など社会的に多くの課題が山積。これ  
 から先を考えると、決して明るくはあつたばかりではありませ  
 ん。しかし、いかに楽しく充実した一生を送れるかは全て自  
 分次第だと思つたのです。

自分の世界は、空間的にも時間的にも極ささやかだけれ  
 ど、その中には必ず何か新しいものがあるはずだ。という考  
 えを持ち続けております」

と、詩人のまどみちおさんが百歳の誕生日で、こんなことを  
 言っていたのを思い出しました。

私自身、一つのことが比較的スムーズにできるようになる  
 と、何故か新しいことに挑戦したくなります。苦手なものは  
 苦労も多く冷や汗ものですが、初心者になることで謙虚な気  
 持ちになれます。

又、別の視点を加えることで新鮮な気持ちも生まれてくる。  
 甲を取ることも悪くないなあ」と思えるようになると思つ  
 ています。

□だけの笑いは、人のため。体全体の笑いは、自分のため  
 と、何時か誰かが言っていました。

常に新たなことに挑戦する気持ちを持ち続け、いつも全  
 身で笑つて「願晴ろっ」がなほっはっは」

令和への改元の初めに、思いを新たにしている今日この頃で  
 す。



特定非営利活動法人  
 介護の社会化を進める  
 一人市民委員会宮城県民の会

編集委員

荒井 勝子 阿部 洋子 大坪 俊男 柏倉 勝  
 兼平 幸雄 工藤 俊廣 本田 裕子 前田 泰子